



P6

東京2020オリンピック  
聖火リレー それぞれの思いを胸に!



P2

新型コロナウイルス感染症に  
県民一丸となって立ち向かう



P10

山梨県総合計画  
令和2年度予算が成立

県民の  
皆さんへ

# 新型コロナウイルス感染症に 県民一丸となつて立ち向かう

新型コロナウイルス感染症は、今まさに拡大局面にあり、県内でも感染者が確認されています。県では、国内での感染が認められる前から、県民の皆さんの生命と健康を守るため、常に先手主義・事前対応に努めてきましたが、国全体として感染拡大防止に、より強力に取り組まなければならない事態になっています。学校の臨時休業などにより、皆さんの生活に大きな負担・制約が生じていますが、まん延を防止できるかどうかは私たち県民一人一人の行動にかかっています。今後、皆さんの生活への影響を最小限にするため最大限の努力をしていきますので、「うつらない」「うつさない」ための対策に細心の注意を払って日常生活を過ごしていただくようお願いいたします。

## 「うつらない」「うつさない」ために



藤井 充 知事政策補佐官(感染症対策) 岐阜保健所長  
厚生労働省疾病対策課長、成田空港検疫所長などを歴任

### 正しく理解し、正しく備える 風邪などと同じ予防対策を

ヒトに感染するコロナウイルスは、今回の新型コロナウイルス以外にこれまで6種類見つかっています。そのうち4種類が一般的な風邪のウイルス、あとの2種類は「重症急性呼吸器症候群(SARS)と「中東呼吸器症候群(MERS)」という非常に

重篤な肺炎を起こすウイルスです。新型コロナウイルスを含め、いずれも感染予防の基本は、手洗いとせきエチケットです。

### 多くの方は軽症 高齢者などは重症化する恐れ

現状、一番多い症状は、発熱とせきです。通常の風邪やインフルエンザと比較すると、症状が長引き、非常に強いだるさが出るのが特徴です。全く症状が出ない場合もあるなど、軽症の方が多いといわれています。しかし、高齢者、糖尿病や肺疾患の持病がある方などは重症化する恐れがあり、特に注意が必要です。

## 感染拡大防止のため予防対策を徹底してください

感染は ●「せき」や「くしゃみ」などの飛沫に含まれるウイルス  
●ウイルスが付着した物などへの接触 がきっかけで起こります。  
基本的な予防対策をしっかりと行って冷静に対応しましょう。

### ■正しく手を洗う (外出後や食事前など小まめに行ってください)

- 流水でよく手をぬらした後、せっけんを付け、手のひらをよくこする
- 手の甲を伸ばすようにこする
- 指先・爪の間を念入りにこする
- 指の間を洗う
- 親指と手のひらをねじって洗う
- 手首も忘れずに洗う



### ■せきやくしゃみなどが出るときは 3つの「せきエチケット」を マスクの着用などにより、「うつさない」ことを特に心掛ける



### ■感染リスクの高い環境を避ける

感染リスクが高い環境とは「換気が悪く」、「人が密に集まって過ごすような空間」で「不特定多数の人が接触する恐れが高い場所」など



3月8日時点での情報を基に作成されています。

**不安なことや症状のある方は  
まずは電話相談を**

県では「新型コロナウイルス感染症専用相談ダイヤル」を開設し、予防対策や不安なことなどの電話相談を受け付けています。厚生労働省でも新型コロナウイルス感染症に関する電話相談窓口を設けています。

また、風邪の症状や37.5度以上の発熱が4日以上続き、強いだるさや息苦しさといった症状がある（高齢者や持病がある方は、この症状が2日以上ある）場合には、各保健所に設置されている「帰国者・接触者相談センター」に相談してください。

一般的な風邪と思われる症状の場合、かかりつけ医を受診される方も多いと思います。その場合も念のため、あらかじめ電話で症状を伝えた上で、かかりつけ医の指示に従って受診をするようにしてください。

**拡大防止や重症化予防など  
適切な医療提供に万全を期す**

県内には感染症指定医療機関が7カ所あり、これに山梨大学医学部附属病院を加えた八つの病院が入院医療の核になっていきます。現時点で受入体制に支障はありません。現在も医療従事者

の方々や、相談窓口で対応に当たる職員は、強い使命感を持って、県民の皆さんの生命と健康を守るために日々努力を続けています。

また、県内で発生した新型コロナウイルス感染症の患者に、適切な医療を提供し、重症化予防・早期回復と併せて、感染の拡大防止を図るため、円滑に最適な医療機関へ入院できるように、感染症の専門家であるドクター2名と、公衆衛生の専門家である私とで構成する「COVID-19入院調整専門家会議」も設置しています。県全体の入院医療体制や感染防御について、専門家としての医学的知見を踏まえてさまざまな検討を行い、県に提言・アドバイスをするなど、医療と行政の連携を強化するパイプ役としての活動をすでに開始しています。

**確かな情報を基に冷静な対応  
県民一丸で、感染拡大防止を**

県では記者会見などで呼び掛けを行うとともに、県ホームページなどを通して必要な情報を速やかに発信していきますので、県民の皆さんには、デマや不確実な情報に惑わされることなく、冷静な対応をお願いしたいと思います。一人一人の行動が、ご自身のみならず周囲の方々の感染防止にもつながりますので、ご配慮いただきたいと思えます。

※窓口などの設置状況は、今後変更される場合もあります。

**新型コロナウイルス感染症専用相談ダイヤル** (山梨県健康増進課)

**TEL 055-223-8896** 午前9時～午後9時 (土日・祝日も実施)  
FAX 055-223-1499

■感染の予防に関することや、不安なことなどについて相談を受け付けています。

厚生労働省にも電話相談窓口があります

**TEL 0120-565653** (フリーダイヤル) 午前9時～午後9時 (土日・祝日も実施)

聴覚に障害のある方など、電話でのご相談が難しい方は FAX 03-3595-2756 へ

医療機関での感染リスクを減らすため、一般的な風邪の症状の場合は、まず自宅で療養してください。感染者が集団発生した施設などを訪れた方や、感染者との濃厚接触が疑われる方は、症状の有無にかかわらず、まずご相談ください。

**次の症状がある方も各保健所(帰国者・接触者相談センター)にご相談ください**



- 風邪の症状、37.5度以上の発熱が4日以上 (解熱剤を飲み続けなければならない場合を含む)
- 強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)

※高齢者、糖尿病や肺疾患など持病がある方は  
上記症状が2日以上続く場合

県内の各保健所(帰国者・接触者相談センター)については、  
県ホームページまたはこちらのQRコードから



【各保健所TEL】 中 北 055-237-1403 中北(韮崎) 0551-23-3074 峡 東 0553-20-2752  
峡 南 0556-22-8158 富士・東部 0555-24-9035 甲府市 055-237-8952

**相談～受診～検査**

相談の結果、感染の疑いのある場合には、専門の「帰国者・接触者外来」を紹介しています。マスクを着用し、公共交通機関の利用を避けて受診してください。

受診先の医師が総合的に判断し、新型コロナウイルス感染症を疑う場合は、感染の有無を検査します。



状況は日々変化しています。不確実な情報に惑わされないよう国や県の出す最新の情報を確認してください。

新型コロナウイルス感染症に関する総合情報はこちら

山梨 新型コロナウイルス

検索



# 県の新型コロナウイルス感染症対策 (拡大防止、金融支援、生活支援、医療提供体制強化など)



## COVID-19入院調整専門家会議の設置

県内の新型コロナウイルス感染症患者が、医学的な知見を踏まえて円滑に最適な医療機関に入院できるよう、感染症の専門家による会議を設置しています。入院先の調整に加え、入院中に病状が変化し転院が必要となった場合などに、この会議が患者の状況を確認しながら受け入れ先を調整します。新型コロナウイルス対策全般(感染拡大防止、適切な医療の提供、重症化防止、早期回復など)に関する助言も行っています。



メンバー  
藤井 充氏(知事政策補佐官、岐阜保健所長)  
井上 修氏(山梨大学医学部附属病院医師)  
三河 貴裕氏(県立中央病院医師)



## 中小企業・個人事業主への支援

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、売上高が減少した県内中小企業者向けに融資を実施

**融資対象** ※制度の詳細などについては、遠慮せずにご相談ください。

### 経済変動対策融資(経済危機関係)

1カ月間の売上高が前年同月比で20%以上減少し、かつその後の2カ月間を含む3カ月間の売上高が前年同期比で20%以上減少すると見込まれる方

### 経済変動対策融資(不況業種対策関係)

中小企業信用保険法第2条第5項第5号で指定する不況業種で、直近3カ月間の売上高が前年同期比で5%以上減少するなどしている方



### 相談場所

県庁別館3階 中小企業金融相談窓口  
平日 午前9時～午後4時  
TEL 055-223-1554



全国初

## 就労者への支援(感染拡大防止のための新型コロナウイルス対策休業助成金制度)

きめ細かな支援

新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、感染者や濃厚接触者が休業を余儀なくされた場合に一定額を助成

### 助成対象

労働基準法の適用を受ける労働者もしくは事業活動を行う個人事業主で、県内に住所を有し、新型コロナウイルスの感染者および濃厚接触者として保健所から入院勧告または外出自粛要請があった方

**申請期間** ~令和2年3月31日

### 要件

労働基準法に基づく休業手当金、健康保険法に基づく傷病手当金、その他給与または事業所得の補填に当たる公的な給付金などが支給されないこと

### 助成額

4,000円/1日(最大14日)

※この支援制度の適用は新型コロナウイルスの県内未発生期または県内発生早期に限ります。  
【問い合わせ先】TEL 055-223-1561



全国初

## 子育て家庭への支援(新型コロナウイルス感染拡大防止対策のための子育て家庭休業助成金制度)

きめ細かな支援

子どもが小学校や保育所などへ登校・登園しなかったことに伴い保護者が休業を余儀なくされた場合、休業に伴う収入減の一部を助成

### 助成対象

子どもの登校・登園自粛などにより休業し、収入が得られなかった保護者で  
・3年生以下の小学生  
・特別支援学級、特別支援学校に通う児童・生徒  
・保育所、幼稚園、認定こども園などに通う児童を持つ市町村住民税非課税世帯またはひとり親世帯の方

### 要件

同趣旨の国の新制度による企業への助成金や休業手当金などの公的な給付金が支給されないこと

### 適用期間

~令和2年3月31日

### 申請期間

~令和2年4月30日

### 助成額

4,000円/1日(最大14日)

【問い合わせ先】TEL 055-223-1459



## 帰国者・接触者外来設置医療機関の備品整備を支援(追加対策分)

感染症に関する医療提供体制の強化を図るため、帰国者・接触者外来を設置した医療機関が行う備品整備に対し助成する経費を確保(1,000千円)



## 入院受入医療機関が行う陰圧装置整備を支援(追加対策分)

感染症患者の入院を受け入れる医療機関が行う、2次感染を防止するための陰圧装置整備に対し助成する経費を確保(45,700千円)



## 医療機関、社会福祉施設などへのマスクなどの配布

新型コロナウイルスのまん延を防止するため、医療機関、高齢者福祉施設や障害者施設といった社会福祉施設などにマスクなどを配布する経費を確保(15,000千円)

新型コロナウイルス感染症に関する詳しい情報は、県ホームページでご確認ください。

新型コロナウイルス感染症に関する総合情報はこちら



山梨 新型コロナウイルス

検索



# 県民の生命・健康と生活を守る! これまでの県の主な取り組み

(3月8日現在)

1月 7日	県内医療機関に院内感染対策徹底の注意喚起	
1月17日	知事臨時記者会見 ・中国の春節を控え、県内宿泊事業者への注意喚起 ・体調不良者へのマスク着用、医療機関受診勧奨 ・県下旅館・ホテルへの手指消毒液配布を表明(1月24日配布開始)	
1月22日	外国人の受診に備えての多言語医療問診票の周知	
1月23日	中国人観光客等のスムーズな受診誘導/受診体制を整備 ・医療機関受診案内のホームページ掲載/宿泊施設での掲出 ・医療機関での多言語医療問診票の活用 ・体調不良者を医療機関につなぐ対応案内を宿泊施設に配布 保健所担当情報共有会議/県各局連絡会議/観光関連市町村担当者説明会	
1月24日～	関係団体・機関(集客施設・交通機関など)への注意喚起	
1月29日	新型コロナウイルス感染症対策会議(知事、副知事、部局長、関係機関などがメンバー) ・国の動きや本県における課題、対応などを情報共有 新型コロナウイルス感染症相談ダイヤル設置	
2月 3日	報道関係者との「新型コロナウイルスに関する勉強会」開催(県民の不安軽減・混乱防止と患者発生・まん延防止のため) ・新型コロナウイルス感染症の正しい理解と適切な対応について ・患者発生時の県民への適切な情報公表(基準)について ・「ふっこう割」インバウンド枠の国内枠への振替適用の要請について	
2月 4～6日	感染予防対策・融資制度のお知らせ(新聞広告掲載:3日間連続)	
2月 7日～	感染予防対策のお知らせ(ラジオ・テレビのスポット放送)	
2月 7日	知事記者会見 ・県内の宿泊施設へのマスク配布を表明(2月12日配布完了)	
2月10日	帰国者・接触者相談センターを設置/帰国者・接触者外来を設置	
2月12日～	クルーズ船患者の受け入れを公表(2月11日から順次受入、計20人)	
2月19日	新型コロナウイルス感染症対策連絡会議(第1回)	
2月20日	新型コロナウイルス感染症対策連絡会議(第2回) ・イベントなどの開催可否の検討ほか COVID-19入院調整専門家会議を設置(藤井峽東保健所長を知事政策補佐官に任命)	
2月21日	知事臨時記者会見(県民不安の軽減のため対応状況などを説明) ・COVID-19入院調整専門家会議の設置 ・医療提供体制強化に向けた備品など整備への助成 ・医療機関、社会福祉施設へのマスクなどの配布 ・業績悪化中小企業への金融支援(経済変動対策融資・融資枠80億円) ・「ふっこう割」の期間延長	
2月25日	知事臨時記者会見(政府発表「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」も踏まえて) ・踏み込んだ情報開示(クルーズ船患者受入状況、クルーズ船下船者への対応、ウイルス検査実施状況) ・県教委に危機感を持った拡大防止対策(子供を感染から絶対に守る意識・対策の徹底)を要請(式典・授業・部活、児童生徒の健康管理、教職員の体調管理、入試など) ・「感染等による休業就労者への支援制度」創設を表明 ・県民への呼び掛け(信頼できる情報を基にした冷静な行動、せきエチケットや手洗いなどの感染症対策の励行) 県ホームページ自動翻訳の精度不足カバーのための対応(国際交流員による翻訳=6カ国語)	
2月26日	疑い事例の検査数ホームページ公表開始	
2月27日(午前)	新型コロナウイルス感染症対策連絡会議(第3回) ・知事による県立施設、県主催イベントの臨時休館・中止・延期などの検討指示を伝達	
(午後)	知事臨時記者会見 ・県立施設の臨時休館、県主催イベントの中止・延期などを発表	
2月28日(午前)	知事臨時記者会見 ・県教委などに最短で3月3日午後からの臨時休業の検討を指示(併せて、小3以下、特別支援学校・学級の児童生徒の受入検討も) ・学校・家庭などでの感染防止対策の徹底を呼び掛け ・県ホームページに「新型コロナウイルス感染症に関する総合情報」のページを作成	
(午後)	知事臨時記者会見 ・「県内小中学校等の臨時休業措置に伴う知事声明」により、県内企業・事業所に対して子育て家庭への配慮を依頼 ・「保育所・幼稚園等への登園自粛要請」および、要請とセットとなる「子育て家庭休業助成制度」の創設を表明 ・感染などにより休業を余儀なくされた者に対して、一定額を助成する「感染拡大防止のための新型コロナウイルス対策休業助成金制度」を発表 ・経済変動対策融資を拡充し、より手厚い融資を実施すると発表(3月2日から実施) ・手洗い・せきエチケットの徹底、児童生徒および家族の健康管理の依頼	
3月 1日	感染・拡大防止対策/相談ダイヤル/疑い事例相談先/中小企業金融相談窓口の案内(新聞掲載:ふれあい3月号)	
3月 3日	トイレ紙・ペーパーなどの冷静な購買行動を呼び掛け、経済変動対策融資の対象拡大(3月6日から実施) 小・中学校、高校などの臨時休業に伴い地域での見守りを「市町村」や「山梨県安全・安心なまちづくり推進会議」構成団体などに依頼	
3月 4日	知事臨時記者会見 ・「子育て家庭休業助成制度」の骨子を発表 ・信玄祭りの4月実施見送り、11月開催へ向けた再チャレンジの意向を表明	
3月 5日	全国知事会 新型コロナウイルス緊急対策本部で国へ要請 ・感染防護医療資材の確保 ・自営業者への収入減対策 ・患者移送用の救急車の配備 ・患者受入病院への財政支援	
3月 6～8日	知事臨時記者会見(各日) ・県内初の患者発生および対策会議の本部への格上げ ・さらなる予防対策の徹底、保健所への相談を呼び掛け ・患者の行動履歴などの情報収集・確認機能強化のための「感染症対策特別チーム」を編成 など	



TOKYO 2020  
OLYMPIC GAMES



TOKYO 2020  
PARALYMPIC GAMES

HOST VENUE

**TOKYO 2020**

オリンピック  
自転車競技山梨県開催  
オリンピック ロードレース

男子 2020年7月25日(土) 女子 26日(日)

オリンピック開催まで パラリンピック開催まで

114日 146日

(令和2年4月1日現在)



# 東京2020オリンピック 聖火リレーそれぞれの思いを胸に

## 聖火リレーの記憶が

## いつまでも県民の心に残るように

6月27日、28日に県内で実施される、東京2020オリンピック聖火リレーの詳細なルートが発表されました。聖火リレーの総走行距離は2日間で32.3キロメートル。本県が誇る美しい山並みや自然景観などの魅力を国内外にアピールできるルートになっています。

聖火は、6月27日に南部町を出発して12市町を巡り、県庁の噴水広場に到着。翌28日は、笛吹市を出発して11市町村を巡り、富士山パークینگまでリレーされます。赤沢宿、日本遺産に認定されたブドウ畑などが織りなす景観、忍野八海、そして最大の見どころ世界文化遺産富士山といった名所を全国、世界に発信しながら聖火をつなぐ聖火ランナーの姿は、いつまでも県民の心に残ることでしょう。

オリンピックまであとわずか。県民総参加で盛り上げていきましょう。



伝統的な建造物が残る赤沢宿(早川町)

TOKYO 2020  
OLYMPIC TORCH RELAY

Hope Lights Our Way

希望の道を、つなごう。

2020.6.27-28

山梨県実行委員会

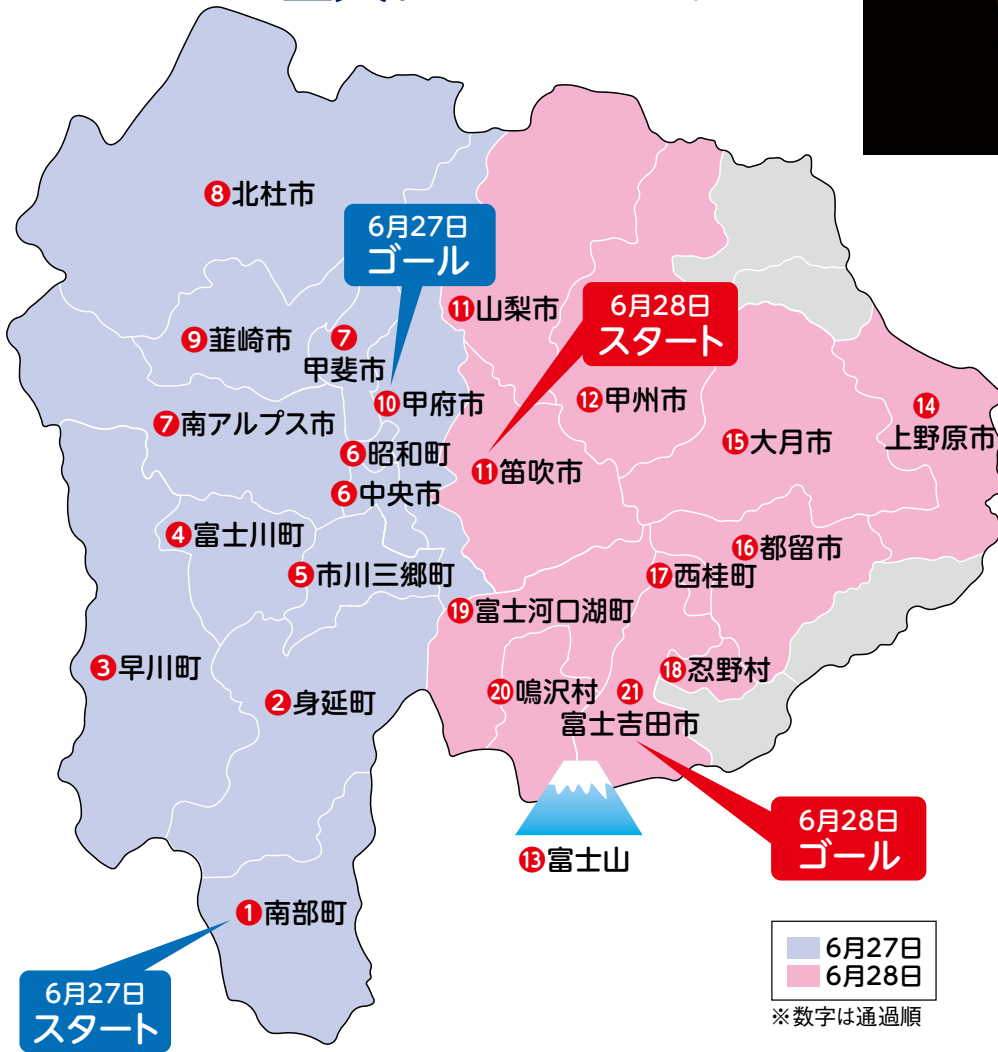


OLYMPIC TORCH RELAY  
TOKYO 2020

# 東京2020オリンピック 聖火リレーのルート



画像提供：Tokyo 2020



富士山5合目

## 6月27日(土)

1 南部町	発	アルカディア南部総合公園
	着	南部橋東
2 身延町	発	天白大善神社付近
	着	身延橋東詰交差点付近
3 早川町	発	赤沢宿入口の旅館前
	着	妙福寺第二駐車場
4 富士川町	発	青柳町公民館付近
	着	鵜沢警察入口交差点付近
5 市川三郷町	発	市川三郷町市川大門地区内
	着	NTT電信柱(上野392)付近
6 中央市・昭和町	発	田富郵便局付近
	着	常永小学校北交差点付近
7 甲斐市・南アルプス市	発	竜王西小学校南信号付近
	着	桃ノ丘団地入口信号西付近
8 北杜市	発	五町田交差点付近
	着	北杜市高根総合支所付近
9 韮崎市	発	一ツ谷交差点付近
	着	歯科医院前
10 甲府市	発	自治研修センター東交差点付近
	着	山梨県庁噴水広場※

## 6月28日(日)

11 笛吹市・山梨市	発	笛吹市役所春日居支所
	着	宅配弁当会社付近
12 甲州市	発	菱山小学校前信号手前70m付近
	着	車両退避場付近
13 富士山	発	富士山5合目バス停付近
	着	富士山5合目展望広場
14 上野原市	発	上野原高校入口交差点付近
	着	日本生命上野原支所前
15 大月市	発	大月市役所付近
	着	駒橋交差点付近
16 都留市	発	県道24号線立体付近
	着	踏切手前130m付近
17 西桂町	発	中央道立体交差点付近
	着	福善寺付近
18 忍野村	発	忍野八海バス停三叉路東の民宿前
	着	おみやげ店大型駐車場前
19 富士河口湖町	発	東恋路交差点付近
	着	ふれあいセンター前信号付近
20 鳴沢村	発	大田和の町村境付近
	着	鳴沢駐在所付近
21 富士吉田市	発	クリニック前
	着	富士山パーキング※

※はセレブレーション会場



「葡萄畑が織りなす風景」(峡東地域)



世界文化遺産の構成資産 忍野八海(忍野村)

詳細はこちら

山梨 聖火リレー

検索

# 東京2020オリンピック 聖火リレーに懸ける思い

聖火ランナー(県実行委員会分)が発表され、本県の魅力が詰まった聖火リレーコースを走る、さまざまなキャリアや年齢の方々が選ばれました。今回は3人の聖火ランナーに、リレーに懸ける思いを伺いました。

## スポーツは年齢に関係なく 始められる楽しみ

私は、地域の方々が健康づくりを目指して、発足させた「竜王走ろう会」というグループで、30年ほど前から仲間と一緒に走っています。特にスポーツ経験がなかった私が走ることに興味を持ったのは、普通の主婦だったゴーマン美智子さんという方がボストンマラソンなどで優勝したのをテレビで知ったことがきっかけでした。私が時間に余裕ができて、



オリンピックトーチ(上から見た画像)  
画像提供: Tokyo 2020

たくさん走るようになったのは60代からです。そんな私が聖火ランナーとして走る姿を見せることで、スポーツに年齢は関係なく、いくつになっても始められることや、スポーツの楽しさを伝えられたらうれしいです。



全国健康福祉祭2017年 マラソン5キロの部 優勝  
齋藤 ひろ子さん(甲斐市在住)

今は走ることが私の人生の一部になっていて、四季折々の山梨の美しい自然の表情に感動しながら走っています。聖火を未来につなぐ思いで一生懸命走りたいと思います。

## 聖火は縁起物リレーした聖火が メインスタジアムにともされるのがいい

1964年の東京オリンピックに続き、再び聖火ランナーに選んでもらい大感謝です。めったにあることじゃないですからね。高校生だった前回は、卓球部の主将をしていたということで僕も選ばれたんです。日の丸が付いたランニングに短パンというユニフォームを着て、猿橋の付近を1.2キロメートル走りました。自分が持つトーチに聖火が移された時は、周りが見えないほどの白煙が上がりびっくりしたものです。ちょうど霧雨が降ってきて「聖火消えないかな?」なんて心配もしました。あれから56年、今回も聖火ランナーとして、山梨を走れることをうれしく思います。

聖火ランナーというのは、日本的にいうと縁起物でやるわけです。聖火はなくても競技はできるわけですから。でも聖火がともった場所で開催することに意味があるんです。だから聖火ランナーを務めるからには、ふざけ半分じゃいけません、真剣にやらなきゃ駄目なんです。自分に託された火を、次の人につなぎ、みんなでリレーした聖火がメインスタジアムにともされるのがいいですよ。

山梨は僕を育ててくれた所であり原点、本当にいい所です。山梨の魅力を多くの人に伝えられるように、一生懸命走りたいと思っています。



落語家 三遊亭 小遊三さん



# 平和の祭典で大好きな山梨の魅力を発信！

私は小学校6年生の時に、県の代表として参議院70周年記念子ども国会に議員として参加しました。みんなが未来を語る中で、私は山梨県の魅力に気付き、地域への関心がとても深まりました。聖火ランナーに応募したのも、大好きな地域の魅力を発信して、盛り上げていきたいと思ったからです。

選ばれた時は、信じられないという思いでしたが、それとともに自分が聖火ランナーとして、どのように山梨をPRできるかしっかり考えようという責任感が生まれてきました。

オリンピックは大きな平和の祭典だと私は思っています。みんながスポーツという一つの事でつながり、同じ立場で競い合うことができるオリンピックは、



平和が一番近い場所だと思っています。そんなオリンピックに聖火ランナーとして関われることを、とても光栄に思いますし、この経験は自分の誇りとなり、自信につながると感じています。

山梨英和中学校3年  
矢野 育帆さん  
(北杜市在住)

## 東京2020オリンピック聖火ランナー

(県実行委員会分)

敬称略、五十音順

### 6月27日(土)

- ①秋山 寿彦
- ②磯部 博徳
- ③大村 智
- ④小田川 恵理
- ⑤金丸 健
- ⑥Styczynska Karolina Krystyna
- ⑦小池 琉南
- ⑧齋藤 ひろ子
- ⑨佐々木 琥珀
- ⑩佐野 夢加
- ⑪田中 千晶
- ⑫田村 昴一
- ⑬知見 真衣
- ⑭成宮 賢行
- ⑮萩原 智子
- ⑯花輪 和志
- ⑰深沢 千暁
- ⑱深沢 瑞樹
- ⑲前澤 佳月
- ⑳松本 弘
- ㉑山本 健一
- ㉒山本 恭佑

### 6月28日(日)

- ㉓天野 緑
- ㉔今村 俊雄
- ㉕勝俣 和広
- ㉖亀井 翔
- ㉗河内 成幸
- ㉘日下部 紫音
- ㉙小林 俊介
- ㉚小山 玲弥
- ㉛近藤 光一
- ㉜佐藤 秋華葉
- ㉝三遊亭 小遊三
- ㉞嶋崎 竜馬
- ㉟白須 慶子
- ㊱高村 洋平
- ㊲筒井 真理子
- ㊳手塚 類
- ㊴中山 陽介
- ㊵成島 出
- ㊶藤巻 亮太
- ㊷舟津 宏昭
- ㊸宮沢 和史
- ㊹武藤 敬司
- ㊺矢野 育帆
- ㊻山口 雄一
- ㊼吉原 稔
- ㊽渡辺 光美
- ㊾渡邊 義孝

## 聖火フェスティバル日程

8月13日(木)

採火式

県内5カ所

8月14日(金)

県内集火・分火式

県庁

8月14日(金)~16日(日)

聖火ビジット

27市町村で展示

8月16日(日)

県内集火・出立式

県庁

## 東京2020パラリンピック 聖火リレー

共生社会を実現し「新しいパートナーシップ」を考えるきっかけに

東京2020パラリンピック聖火リレーは、2020年を契機に共生社会を実現し、人と人、人と社会との「新しいパートナーシップ」を考えるきっかけとなることを目指しています。

パラリンピック聖火リレーは、全国各地で行われる聖火フェスティバルにおいて、独自の方法で採られた火を一つの聖火にまとめ、それをつなぎます。県内では聖火リレーは実施されませんが、聖火フェスティバルが行われます。8月13日に5カ所(県福祉プラザ、道の駅どうし、山中湖村役場、小菅村中央公民館、丹波山村役場)において、共生社会への思いを込めた独自の方法で採火を行います。翌14日にそれらの火を県庁に集めた後、全27市町村に分火して、16日までの間、「聖火ビジット」と称して公共施設や福祉施設などで展示。16日に再度火を県庁に集めて、開催都市である東京に送り出します。

# 山梨県総合計画

**性格** あらゆる県計画の上位に位置する、新たな県政運営の基本指針

**期間** 2019(令和元)年度から2022(令和4)年度までの4年間

## 基本理念 2040年の山梨が目指すべき姿

### 県民一人ひとりが豊かさを実感できるやまなし

- ① 価値を生み出す産業 産業の高付加価値化により魅力的な仕事が増加
- ② 一人ひとりの可能性を広げる教育 一人ひとりが多様な個性や能力を発揮
- ③ 多様性が強みとなる共生社会 誰もが生涯を通じて職場や地域で活躍
- ④ 将来に向け持続可能で安心できる生活 持続可能な社会の中で健康寿命が延伸
- ⑤ 快適な生活空間 産業や生活を支え、守る基盤を整備

県民一人ひとりにとっての豊かさも多様化し、また、それぞれのライフステージによっても変化していくと考えられます。日本全体として人口減少が見込まれ、戦後の高度成長期のような急激な経済成長は見込みづらい中で、県民一人ひとりが考える個性ある豊かさを実感するためには、県全体として経済、社会、環境、それぞれの豊かさを維持・拡大させながら、県民一人ひとりの生活の質を向上させていくことが必要となります。

県民が持つ「豊かさ」のイメージ

(%)

	全体	男性	女性	18~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上
心身の健康	51.6	48.8	54.5	35.0	35.6	39.2	52.6	52.2	62.4	60.7
時間的なゆとり	39.7	38.1	41.5	37.5	34.7	53.2	44.0	47.4	32.2	28.8
快適な居住環境	37.5	38.4	36.6	32.5	29.7	37.4	40.5	39.9	41.1	34.1
収入や資産が多い	36.4	40.0	32.6	47.5	51.0	50.5	41.2	35.2	29.9	16.5
恵まれた人間関係	31.8	30.3	33.5	32.5	29.2	35.1	37.1	29.0	28.1	32.6
恵まれた自然	26.1	26.6	25.6	32.5	25.7	20.3	18.6	21.5	28.7	40.4

〔平成29年県民意識調査〕

## 注目 2040年の将来像をマンガで紹介!

総合計画の策定に当たっては、山梨県の将来像など若手県職員の意見を参考にしています。また、「2040年への手紙～山梨県総合計画の目指す未来～」を作成し、2040年の山梨の姿をマンガで分かりやすく描いています。詳しくは県ホームページをご覧ください!



長崎知事ら幹部と若手県職員との意見交換



本県が目指す姿を県民の皆さまと共有するため、また、その実現に向けたさまざまな取り組みを効果的・効率的に推進していくため、県の取り組みの設計図となる総合計画を策定しました。この計画を基に、誰もが輝ける場所、幸せになれる場所となるよう、一人ひとりが抱く夢や希望を実現できる山梨、もっと豊かさを実感できる山梨をつくります。

## 人口の将来展望(人口ビジョン)

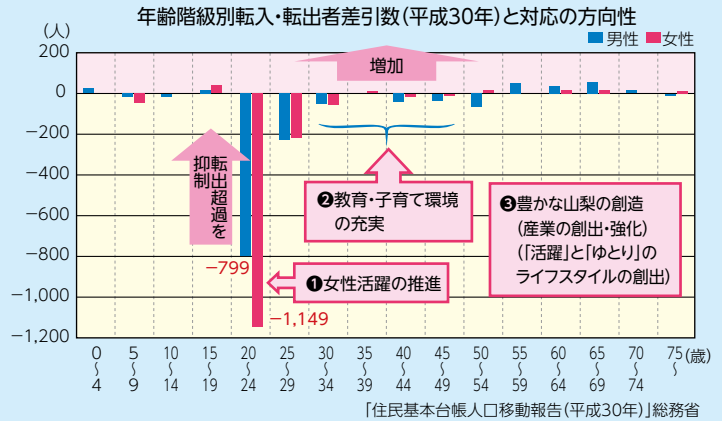
総合計画には、本県の将来像が設定された2040年と、さらにその先の未来に向けて、人口の規模や動きを展望した「人口ビジョン」を掲げています。

### ポイント 1 人口の現状

- 本県の総人口は2000(平成12)年の89万人台をピークとして減少に転じ、2020(令和2)年1月現在、約81万人となっています。
- 県内出生数は減少傾向で、少子高齢化が進行しています。今の傾向が続いた場合、総人口は2040年に64万2千人、2060年に46万9千人に減少し、かつ、世代間の人口バランスは悪化していくと見込まれます。

### ポイント 2 人口の未来を変えるための方向性

- 就職期の若者(特に女性)が大きく転出超過となっていること、子育て世代も転出超過でU・Iターンの動きが弱いこと、そして、こうした社会減が自然減に拍車をかける人口減少のスパイラル(悪循環)が生じていることが問題となっています。
- 対応の方向性として、①女性活躍の推進②教育・子育て環境の充実③経済の底上げによる豊かな山梨の創造の3つを掲げました。

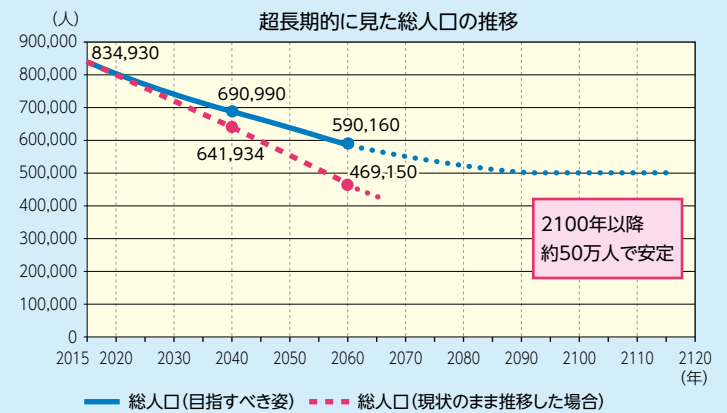


### ポイント 3 人口の将来展望

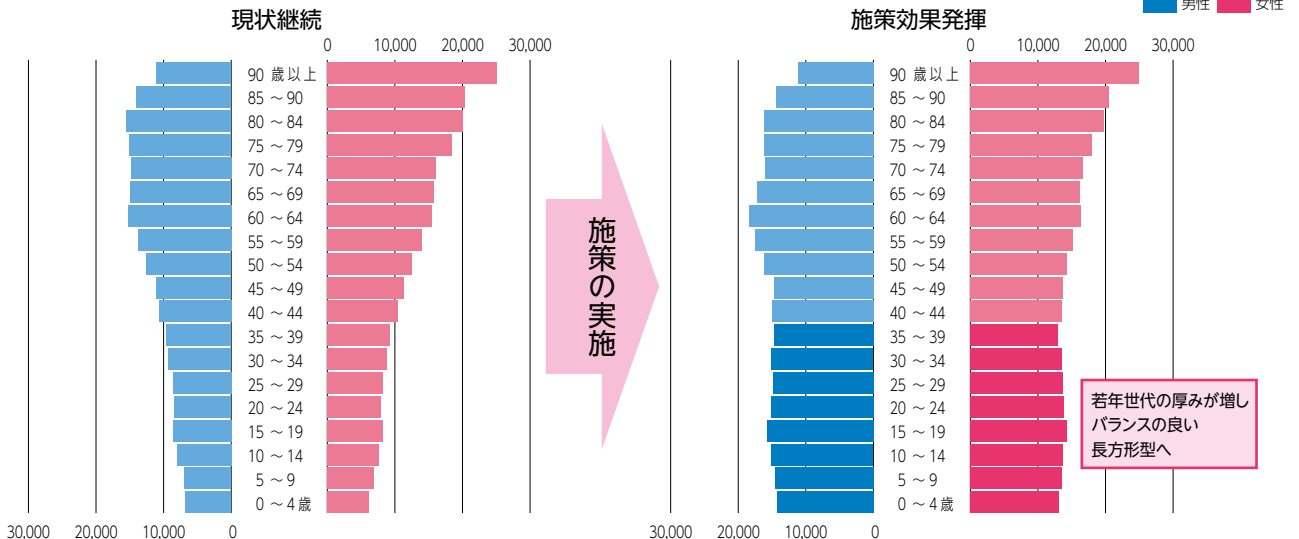
- 当面の人口減少は避けられないとしても、総合計画に基づいた確かな対策によって減少の程度を緩和し、世代間でバランスのとれた持続可能な人口構成へ向かわせることが可能になります。

#### 《将来展望のポイント》

- 人口減少ペースは緩やかに(2040年:69万1千人、2060年:59万人)
- 生まれる子どもの数が減らない社会に
- 超長期的に、人口減少は止まる(2100年以降:総人口は約50万人を維持)



### 2060年における人口ピラミッド改善のシミュレーション



## 基本理念実現のための5つの戦略

総合計画では、取り組みの方向性である5つの「戦略」の下に、その戦略のねらいを実現するための17の「政策」を掲げ、効果的・効率的にさまざまな施策や事業を推進していきます。

### 戦略1

#### 攻めの「やまなし」 成長戦略

産業の振興による県内経済の活性化

機械電子産業の集積や果樹を中心とした農産物、豊かな森林、富士山をはじめとした観光資源、リニア中央新幹線の開業など、本県の強みを生かして、県外や海外の需要を積極的に取り込むとともに、ICTを活用した新しいサービスなど、時代に対応した産業の振興を推進し、県内経済の活性化を図ります。

【政策1】 やまなしを牽引する産業の育成

【政策2】 観光産業の振興

【政策3】 農業の成長産業化

【政策4】 林業の成長産業化

【政策5】 地場産業や経済を

循環させる産業の強化

### 戦略2

#### 次世代「やまなし」 投資戦略

次代を担う人材の育成・確保

子どもたち一人ひとりに向き合った、きめ細かで質の高い教育が受けられる環境を実現させ、地域の産業との連携などによる産業人材の育成を進め、本県の次代を担う人材の育成・確保を図るとともに、スポーツ・文化の振興を進めます。

【政策1】 一人ひとりの個性を生かした教育の推進

【政策2】 産業を支える人材の育成・確保

【政策3】 文化芸術やスポーツの振興による可能性の発揮

### 戦略3

#### 活躍「やまなし」 促進戦略

誰もが生涯を通じて活躍できる環境の整備

子育て支援の充実や働き方改革の推進、就業環境の整備などを進めることにより、年齢、性別、障害や疾病の有無、国籍、家庭の事情などに関わらず、誰もが生涯を通じて、その人らしく働き、地域で活躍することができる環境づくりを進めます。

【政策1】 誰もが個性や能力を発揮できる環境の整備

【政策2】 希望を叶える子育て支援等の充実

【政策3】 地域へのひとの流れの強化

### 戦略4

#### 安心「やまなし」 充実戦略

保健・医療・福祉の充実と持続可能な社会への転換

日本一の水準にある健康寿命の更なる延伸など、誰もが安心して暮らすことができるよう、保健・医療・福祉の充実を図るとともに、自然環境の保全や地球温暖化対策の推進など、持続可能な社会への転換を進めます。

【政策1】 健康・命を守る保健医療の確保

【政策2】 地域で安心して自分らしく暮らすことができる福祉の充実

【政策3】 環境と調和した持続可能な社会への転換

### 戦略5

#### 快適「やまなし」 構築戦略

産業や生活の基盤づくり

産業や生活の基盤となる交通インフラなどの整備を進めるとともに、防災・減災を含めた災害時の対応の強化や、暮らしを支える生活環境やコミュニティの維持・活性化の支援を図り、ハード・ソフト両面にわたり、産業や生活の基盤づくりを進めます。

【政策1】 産業・生活を支える交通インフラの充実

【政策2】 災害に強い強靱な県土づくり

【政策3】 良好な生活環境と地域を支えるコミュニティづくり

## 多様な主体とのパートナーシップ

- 県民の皆さまはもちろん、市町村、関係団体、民間企業、NPO、教育・研究機関などの多様な主体とのパートナーシップを重視
- 「県民一人ひとりが豊かさを実感できるやまなし」を実現するという目標を共有
- 多様な主体との連携・協働により施策・事業を推進





令和2年度  
当初予算

県民生活の豊かさの  
実現に向け、  
実行段階へ移行！

# 令和2年度予算が成立

## 「県民一人ひとりの豊かさ」の実現に向け「実行段階」に移行！

「県民一人ひとりが豊かさを実感できるやまなし」の実現に向け、総合計画に位置付けた事業を積極的に予算化した。令和2年度当初予算が成立しました。

未来への投資として、防災・減災対策や、教育・子育て環境の充実に関する事業を中心に「積極型予算」を編成する一方、有利な国の制度を最大限に活用し県負担を抑制するなど、財政の健全性の確保にも努めた内容となっています。

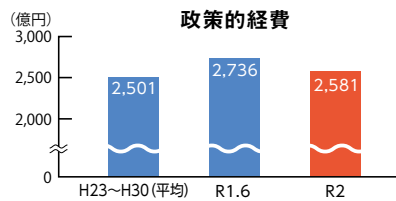
### 予算のポイント

#### 1 「検討段階」から「実行段階」へ

令和元年度6月補正予算において、検討を行うための経費を計上した事業について、着実に実行段階へ移行し、県民生活を向上させるための施策展開を本格化させます。

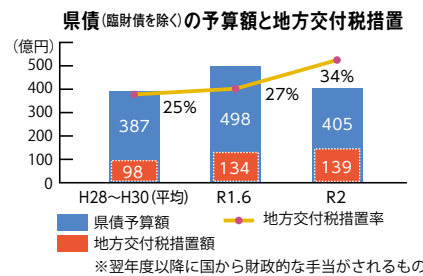
#### 2 令和元年度に引き続き、積極型予算を編成

予算総額4,577億円から、人件費や公債費などの義務的な経費を除いた政策的経費は2,581億円、また、新規事業数は114事業です。いずれもこの10年間で令和元年度に次ぐ2番目の規模となりました。

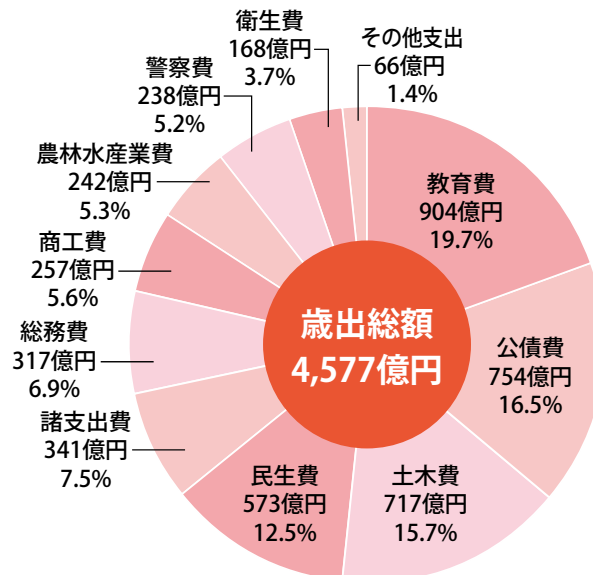
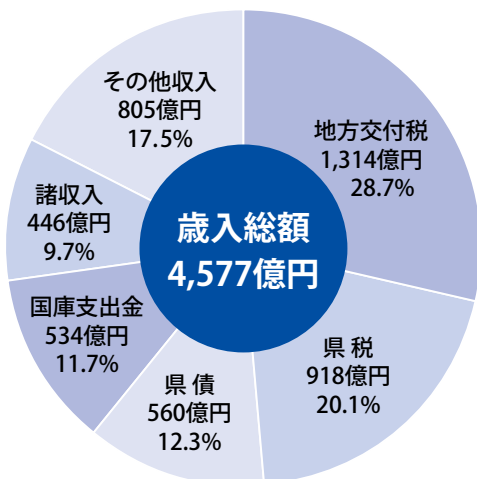


#### 3 財政の健全性・持続可能性を確保

県債の発行総額を抑制するとともに、有利な国制度（地方交付税措置）を可能な限り取り込み、実質的な県負担の軽減を図っています。また、中部横断自動車道に係る地方交付税措置額の増などにより、当初予算段階における財源対策のための基金の取り崩し額は、前年度より15億円減少しました。



### 令和2年度一般会計当初予算額



# 令和2年度当初予算の主要事業

## 戦略1 攻めの「やまなし」成長戦略

東京オリンピック・パラリンピック総合推進事業費	4,548万円
機運の醸成や自転車競技ロードレースの開催準備などを推進。	
リニアやまなしビジョン推進事業費	1,246万円
「リニアやまなしビジョン」に基づき、最先端企業の誘致活動などを実施。	
メディカル・デバイス・コリドー創生事業費	5,952万円
医療機器関連産業の集積に向け、県内企業を支援する拠点の整備など。	
やまなし水素・燃料電池バレー推進事業費	1,182万円
水素・燃料電池関連産業の集積に向け、県内企業の機器開発や部材供給などを支援。	
富士山噴石・落石対策検討事業費	1,382万円
噴石や落石から身を守るシェルターなどの設置を検討。	
山梨「ワイン県」PR事業費	6,800万円
県産ワインを中心とする魅力発信拠点として、「富士の国やまなし館」の再整備などを実施。	
山梨県アイオワ州姉妹県州締結60周年記念事業費	650万円
山梨県四川省友好県省締結35周年記念事業費	2,025万円
式典の開催や友好訪問団の相互派遣などを実施。	
中東諸国インバウンド観光推進事業費	540万円
中東諸国に対し、山梨PR大使によるプロモーション活動を実施。	

サイクル王国やまなし推進事業費	4,148万円
自転車走行環境向上のための道路標示の設置や、サイクリストの受入環境の整備など。	
新品目チャレンジ栽培実証事業費	200万円
意欲ある生産者と協働して実証栽培を実施。	
農産物販路拡大支援事業費	4,709万円
中国の輸出解禁やアジア地域での輸出拡大に向けたプロモーション活動などを実施。	
森林環境譲与税基金事業費	4,135万円
市町村が行う森林経営管理計画の作成支援や、県産材の安定供給の実現に向けた流通体制の構築など。	
やまなし地域活性化雇用創造プロジェクト	5,485万円
県内企業の働き方改革や生産性の向上、求職者の就業などを支援。	
ジュエリー職人ものづくり魅力創出事業費	621万円
県内ジュエリー職人の作品を評価するコンクールや展覧会の開催など。	
やまなし美食ブランド創造事業費	271万円
県産食材を活用した付加価値の高い創作料理の提供などによる新たな食ブランドの確立に向けた取り組みを実施。	



中東諸国などに対して本県へのインバウンド観光をアピール



知事を先頭に「ワイン県」をPR

## 戦略2 次世代「やまなし」投資戦略

愛宕山こどもの国再整備事業費	2,362万円
愛宕山こどもの国の再整備に向けた設計を実施。	
特別支援学級指導体制強化事業費	8,768万円
公立小中学校における特別支援学級の編制を8人から7人に引き下げ、指導体制を強化。	
いじめ・不登校対策事業費	2億2,570万円
スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置、教育支援センターの開設など。	
県立学校冷房設備設置費	1,399万円
県立学校トイレ洋式化事業費	3億9,288万円
児童生徒に快適な学習環境を提供するため、冷房設備の設置、トイレの洋式化を実施。	
やまなしあぐりゼミナール設置事業費補助金	744万円
県農業振興公社が行う就農研修の実施に助成。	

専門高校生資格取得サポート事業費	451万円
経済的に余裕のない世帯の専門高校生の資格・検定試験に係る費用負担を軽減する給付金を支給。	
メディア芸術振興事業費	1,397万円
国内外から公募するメディア芸術作品のコンテストなどを実施。	
全国スポーツ少年団交流大会等参加支援事業費補助金	80万円
経済的に余裕のない世帯の子どもたちの全国大会への参加を支援。	



就農研修などを通じて就農者を支援



専門高校生の資格取得を支援するなど人材の育成・確保を促進

戦略 3 活躍「やまなし」促進戦略

女性活躍応援プロジェクト事業費 437万円

女性が活躍できる職場環境づくりに向けた企業の取り組みを支援。

就職氷河期世代支援事業費 2,500万円

県内企業が行う就職氷河期世代の雇用の確保・定着を図るための取り組みを支援。

子どもの死因究明体制構築事業費 629万円

子どもの死亡事例検証制度の開始を見据え、予防可能な子どもの死亡を減らすための体制を構築。

結婚・妊活応援事業費 300万円

晩婚化・晩産化の改善に向けたセミナーを開催。

幼児教育センター事業費 360万円

山梨大学と連携し、幼児の小学校生活へのスムーズな移行を支援するためのプログラムの策定や研修会などを実施。

外国人材受入・共生推進費 4,262万円

適正な労働環境の整備に向けた協議会の設置や、外国人労働者に日本語教育を行う県内企業への支援など。

外国人児童生徒等支援事業費補助金 304万円

日本語指導を行う教員の配置体制の整備や指導力向上のための取り組みに助成。



女性が活躍できる職場環境づくりを推進



外国人材の受け入れや外国人が安心して働き活躍できる地域づくりを推進

戦略 4 安心「やまなし」充実戦略

地域医療介護総合確保基金事業費(医療) 6億1,986万円

地域医療介護総合確保基金事業費(介護) 13億4,576万円

効率的かつ質の高い医療提供体制と地域の包括的な介護支援・サービス提供体制を構築するための事業を実施。

がん対策強化事業費 1,553万円

がん検診受診率の向上、がん患者への支援などの取り組みを実施。

障害者交流活動推進事業費 258万円

共生社会の実現に向け、健康者と障害者が交流する機会を創出。

自殺対策総合事業費 6,562万円

「こころの健康相談統一ダイヤル」の24時間化の実施など。

子どもの貧困対策推進事業費 588万円

子ども食堂などを開設するための設備整備への助成など。

児童養護施設退所者等自立サポート事業費 1,215万円

生活の安定や自立の促進に向けた相談支援などを実施。

子ども心理治療センターうぐいすの杜運営費 2,526万円

社会生活への適応が困難となった子どもに心理治療や生活指導を実施。

豊かな水と森を活用した「育水」やまなし推進事業費 1,686万円

本県の良質な水のブランド力向上を図るためのプロモーション活動や、企業と連携した水源涵養のための調査研究を実施。

マイクロプラスチック等発生抑制対策事業費 745万円

河川を通じた海洋環境の保全を図るためのワークショップなどを実施。

特定鳥獣適正管理費 1億9,495万円

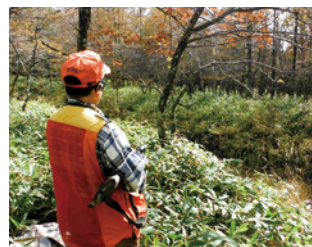
捕獲困難地域での捕獲方法の検討、ツキノワグマの生息数調査、東京都と連携したニホンジカの管理捕獲など。

太陽光発電設備適正管理等強化事業費 358万円

太陽光発電設備の適正導入や適切な維持管理の強化に向けた相談会などを実施。



共生社会の実現に向け、さまざまな交流事業を実施



特定鳥獣の適正な管理を推進事業を実施

戦略 5 快適「やまなし」構築戦略

公共施設等適正管理推進事業費 26億8,641万円

公共施設の長寿命化改修工事などを実施。

富士山火山防災対策推進事業費 1,012万円

避難行動計画に基づく訓練の実施・検証など。

洪水に備えた市町村広域避難支援事業費 21万円

市町村が行う広域避難計画の策定を支援。

避難所非常用電源整備促進事業費補助金 1,500万円

孤立可能性の高い避難所への非常用発電機などの整備に助成。

災害時電力供給体制検討事業費 11万円

電力会社などと連携し、災害時の電力確保対策について検討。

災害時外国人観光客等支援体制強化事業費 780万円

災害時の外国人観光客などに対する多言語での情報提供体制を強化。

空き家対策総合事業費 1,550万円

所有者を特定するための調査、倒壊の危険性が高い空き家の除去などに助成。

防災・減災、国土強靱化等を推進する公共事業費・県単独公共事業費 138億5,952万円

国の「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」に対応した公共事業などを実施。



災害発生時などに災害対策本部を設置

地域に開かれた学校を目指す

# 「やまびこ支援学校」が新校舎へ移転



県東部地域における特別支援教育の中心的な役割を担い、地域に開かれた学校づくりを行っている県立やまびこ支援学校は、旧校舎の施設の老朽化などに伴い、移転整備を進めてきました。1月20日には新校舎開舎式と3学期の始業式を行い、小学部から高等部までの児童生徒が新校舎での学校生活を笑顔でスタートさせました。

## 安全・安心な環境で 地域とつながる新校舎



開放感があり、光溢れる校舎は、児童生徒が使用する建物部分を平屋建てのバリアフリーとし、車いすでも移動しやすい安全・安心な環境が整備されました。一部に県産材を使った木造建築の校舎内は、木の香りや温もり、そして潤いを感じられ、外観は自然な色合いを採用して周辺の景観との調和にも配慮しています。

また、開かれた学校を目指し、生徒と地域住民が触れ合う「喫茶室」として活用する演習室を玄関付近に配置するほか、体育館には外部用玄関を設けて開放的な設計にするなど、地域住民と交流しやすい空間となっています。安心して伸び伸びと遊べる中庭、陶

芸や木工、機織りなどができる特別教室棟に加え、障害の改善を図る自立活動の指導を行う感覚訓練室や上下肢訓練室なども設け、児童生徒の積極的な学習につながることが期待されています。



地域交流にも活用する演習室



上下肢訓練室



# 子どもたちの「かがやく笑顔」と共に

旧校舎は傾斜地にあり、車いすの子どもたちにとっては学校内の移動にも大きな負担がありました。また、敷地の一部が土砂災害特別警戒区域に指定されるなど地理的な危険も伴い、施設全体の老朽化も進んでいたことから、安心して学校生活を送れる校舎への移転は、保護者や学校関係者の願いでした。

移転に当たっては、地域の皆さんと早く打ち解けるように、保護者らが地域の清掃活動を継続的に実施し、子どもたちも清掃活動や公園整備、また自分たちで作った野菜や陶芸品を地域のイベントで販売するなどしてきました。地域の皆さんからも温



地域住民との触れ合いを大切に、地域のフリーマーケット「桂台マルシェ」に参加



小林 勝校長

かい言葉を掛けていただき、子どもたちも喜びを感じています。

3学期から新校舎に登校した子どもたちは、真新しい校舎とさまざまな設備に驚きながら、笑顔で新生活をスタートしました。これからも子どもたちの「かがやく笑顔」を大切に、一人一人の発達段階に応じたきめ細かな教育を実践していくと同時に、地域に開かれた学校として、地域の皆さんに「やまびこ支援学校が来てくれて良かった」と言っていただけの学校づくりを目指します。



校歌をイメージして子どもが描いた絵を基に作られた食堂の壁面

## 地域に開かれる学校になってほしい

PTA会長

土屋 正仁さん

開校当初、この学校は知的障害のある子どもだけを受け入れていた養護学校でした。特別支援学校となり、体が不自由なお子さんも通うようになってからは、傾斜地にあり段差が多い旧校舎は、児童生徒の障害の実態に合わないものになっていました。そこでPTAでも学校と相談をしながら、県の教育委員会に対して、移転を行い、移動に負担の少ないバリアフリーの学校にするよう要望してきました。

新しい校舎は玄関前にスクールバスが横付けでき、雨に濡れることなく車いすの子どもたちが乗り降りできるようになりました。また校舎から外に出ずに体育館やプール、寄宿舎につながる設計で、各教室の移動も楽になりました。立地、建物共に安全性が高まり、災害など万一の場合についての安心感もあります。今後は桂台地域の皆さんとの交流を深めながら、開かれた学校であってほしいと願っています。



## 地域に貢献し、役立つことが意欲と自信につながる

児童生徒会会長

安室 怜臣さん

新しい校舎に初めて登校した日は、児童生徒みんながきれいな校舎を見て本当に驚き、喜びました。実際に学校生活が始まってからは、バリアフリーで学校全体がつながるような構造の便利さや快適さ、そして設備の充実を実感しています。また、僕は電車で通学していますが、猿橋駅から高台にある桂台までは直通のエレベーターが通っているので、とても便利でうれしいです。

旧校舎では地域の高齢者施設の皆さんとの交流が多く、その触れ合いの中で多くのことを学ばせていただきました。その経験から、後輩たちには、地域の皆さんとの交流を大切に、社会に貢献し役立つことで、意欲と自信を持ち、いつも笑顔で学校生活を送ってもらいたいと思います。

僕はこの春から社会人としての第一歩を踏み出しますが、僕たちの夢と希望が詰まったシンボルタワーの鐘の音や、この学校での学びを忘れず、一生懸命働いて、家族を支えられる存在になりたいと思っています。



## 県立やまびこ支援学校

大月市猿橋町桂台3-31-1  
TEL 0554-23-1943  
FAX 0554-23-1946

やまびこ支援学校



校舎から外に出ずに移動できる寄宿舎



外部用玄関を設けた体育館は、安室さんのお気に入り

[シュン!]

やまなしの

# 瞬

vol.  
24

人々の多様な日常を  
デザインの力でありのままに伝えたい

anlib株式会社 代表取締役社長  
「anko」編集長

堀内 麻実さん





事務所はカジュアルで居心地の良い雰囲気を大切にしている。車いすの人も気軽に入れるよう、可動式のスロープを準備



ankoの初イベント「Osajiでankoを食べる日」の様子。メモを取りながら参加者の声に耳を傾ける麻実さん。問い合わせが多く、反響の多さを実感している



連載「車いす!で山梨を巡る!」は、地域の情報だけでなく、モデルの背景や好きなものを伝える、参加型の企画

**anlib株式会社**  
甲府市真川本町13-27 hana B info@anlib.co.jp  
ankoは年2回発行。設置先はお問い合わせください

## 女性が働きやすい環境を求め デザイン会社を設立

子育てをしながら県内の雑誌社で働いていた堀内麻実さん。責任の重い立場になるに従って、家庭に掛けられる時間が減ってくる。「好きで続けてきた仕事だからこそ、仕事と家庭の両方をより充実させたい」と感じるようになったそうです。「小さくてもいいから、家庭のある女性にとって働きやすい環境を自分でつくろう」と思い、平成30年、女性だけでチラシや冊子のデザイン編集を行う「anlib(アンリヴ)株式会社」を設立しました。

東日本大震災で被災した方への取材や、障害のあるお子さんを持つ母親と話をする機会を通して「年齢や性別、その人の背景や、障害の有無などに関わらず、日常の暮らしを発信したい。それがお互いを認め合い、自立した一人として生活している社会づくりのきっかけになるかもしれない」と思い、昨年5月、福祉の視点から山梨を伝えるフリーマガジン「anko(あんこ)」を創刊しました。

## ankoを通して伝えたい 共生社会への思い

これまでの雑誌編集のノウハウに加え、ユニバーサルデザインコーディネーターの資格を取得し、手に取りやすく分かりやすい

誌面づくりを心掛けているという麻実さん。「車いすの利用者がモデルになって参加する『車いす!で山梨を巡る!』のコーナーは、普段なかなか足を運べない場所を聞いて、一緒に企画し、一日かけて取材しています。段差やトイレなど、車いすで生活している人の視点で気付く不便さなどは勉強になります。取材後に、車いすのレンタルを始めたり、バリアフリーの修繕を行ったりした施設もあり、自分たちの活動が共生社会の実現につながっていると実感しています。取材をしていくと、どの人もいろいろな背景があり、それぞれ多様な日常があることが分かりました。当事者でないことができない暮らしを、読者が身近に感じられるように紹介し、橋渡しの役割を果たしたいです」とankoの制作について語ります。

昨年12月、年齢や障害の有無などを越えた方々が集まり、交流を深めるためのイベントを初めて開催しました。「今後もankoの発行や、イベントの開催を通じて、福祉のネットワークを広げたいですし、また、福祉とデザインの連動の可能性を感じているので、障害のある方の雇用につながる活動も考えていきたいです。自分たちの活動が未来を担う子どもたちにとつてお互いを認め合いながら、自信を持って生活ができるような社会になるよう、努力していきたいです」と語る麻実さん。その表情は希望に満ちていました。

# ワイン県 やまなし

Wine Prefecture, Yamana hi

おいしい相性、見つけよう

# 県産ワイン×県産食材で山梨をPR



## 「ワイン県・新マリアーージュのススメ」で振る舞われた料理とワイン

- |  |   |
|--|---|
| <p>② ほうとうのエッセンスを感じる<br/>フェットチーネ<br/>(甲州)</p>         | <p>③ 鹿肉のミートボール<br/>～マスカット・ベリー A とカシス風味～<br/>(マスカット・ベリー A)</p> |
| <p>① 富士の介のマリネ<br/>～自家製リコッタチーズ風～<br/>(甲州 スパークリング)</p> | <p>④ 甲州ワインビーフのロースト<br/>～ふき味噌風味ソース～<br/>(甲斐ノワール)</p>           |

日本ワイン発祥の地として「ワイン県」を宣言した山梨を広くPRするため、「おいしい相性、見つけよう」をキャッチコピーに山梨のワインと食の魅力発信するイベントを開催しました。

ワイン県の知事・副知事が  
新マリアーージュをPR



メディア関係者を招いた「ワイン県・新マリアーージュのススメ」は、昨年「ワイン県副知事」に就任したソムリエの田崎真也さんがプロデュースするレストラン「Y・w・i・n・e」（東京・日本橋）を会場に開催。イベントでは、田崎さん、同

## 山梨のワインと食の ペアリングを楽しんでください

山梨の地形は起伏に富んでおり、気候や土壌が多様なので、バリエーション豊かなブドウ品種が育てられています。また、優れた醸造技術により、同じ品種でもさまざまなタイプのワインが造られていることから、山梨のワインには、ひとりで語ることでできない奥深さがあります。

日本ではまだ、ワインを選ぶときに食とのペアリングを楽しむ習慣が根付いていません。ワインを飲むことで料理がもっとおいしくなるように、「ワインはソース」というイメージで合わせてみてください。山梨は食材の宝庫でもありますから、ぜひマリアージュを楽しんでほしいと思います。



ワイン県副知事 田崎 真也さん



ワイン県副知事 林 真理子さん

## ふるさと山梨が誇るワインを 多くの人に味わってほしい

最近は茶道や華道などのように「ワイン道」を極めようと、一生懸命勉強している若い女性も増えています。レストランでソムリエと会話を弾ませている人などを見かけると、何だかうれしくなってしまう。

私は山梨市の出身なので、同級生の中にはブドウ農家やワイン醸造家もいますし、山梨のワインについてお話しするのは、親戚自慢をするような気持ちなんです。フルーティーで軽やか、そして繊細な味わいの甲州ワインが大好きです。世界に誇ることができるおいしさですので、もっと多くの人に広めていきたいと思っています。



**「ワイン県やまなし」の  
ロゴマークを作成しました!**  
山梨のPRのためにご活用ください



ワイン県  
やまなし



ダウンロードは  
こちらから

じくワイン県副知事を務める本県出身の作家・林真理子さん、長崎知事の3人が、県産食材を使った新作料理と県産ワインの組み合わせを紹介するとともに、「ワイン県」山梨の魅力力をPRしました。

この日は、「甲州」「マスカット・ベリーA」「甲斐ノワール」から造られた4種類のワインと、これに合わせて田崎さんが考案した料理4品が振る舞われました。県産ワインの特徴や料理との相性、また山梨の食の可能性などの説明に耳を傾けながら、ワインと料理のマリアージュを堪能した参加者からは「山梨のジビエとマスカット・ベリーAのマリアージュは新しい発見でした」「山梨は東京から近いので、ワイン産地を訪れてもらえるよう読者に提案をしていきたい」といった声がかれました。長崎知事も「『ワイン県』山梨のワインや豊かな食などの魅力を感じてほしい」と売り込み、山梨をPRする絶好の機会となりました。

## さらなる交流拡大に向けベトナムで「山梨」をPR

**近**

年、ベトナムから山梨を訪れる観光客や県内に在住する人の数が急増しており、本県とベトナムの交流は広がりつつあります。

こうした中、長崎知事は、政府関係者や全国の観光事業者らで構成する「日本ベトナム文化経済観光交流団」の一員として、1月中旬、ベトナムを訪問し、本県の観光資源や県産品のPRなどを行いました。



観光交流シンポジウムで山梨の魅力をPRする長崎知事(左端)

## 「山梨の日本酒」を広くPR

**山**

梨の清らかな名水で醸した県産日本酒を広くPRするため、

1月下旬「山梨の日本酒 メイカーズディナー」が初めて開催されました。会場の東京・日本橋のレストラン「Y・wine」では県内七つの酒蔵が丹精込めて造った日本酒と、それに合う県産食材を使った料理7品が振る舞われ、メニューを考案したソムリエの田崎真也さんがフランス料理など洋食とのマリアーージュを紹介。参加したジャーナリストや酒類流通関係業者からは「山梨のきれいな水を感じさせる味わいだ」「他の酒類では合わせることが難しい料理とも相性が良い」など、高い評価をいただきました。

県では今後も、さまざまな機会を通じて、山梨の日本酒の販路拡大や魅力発信の取り組みを支援していきます。

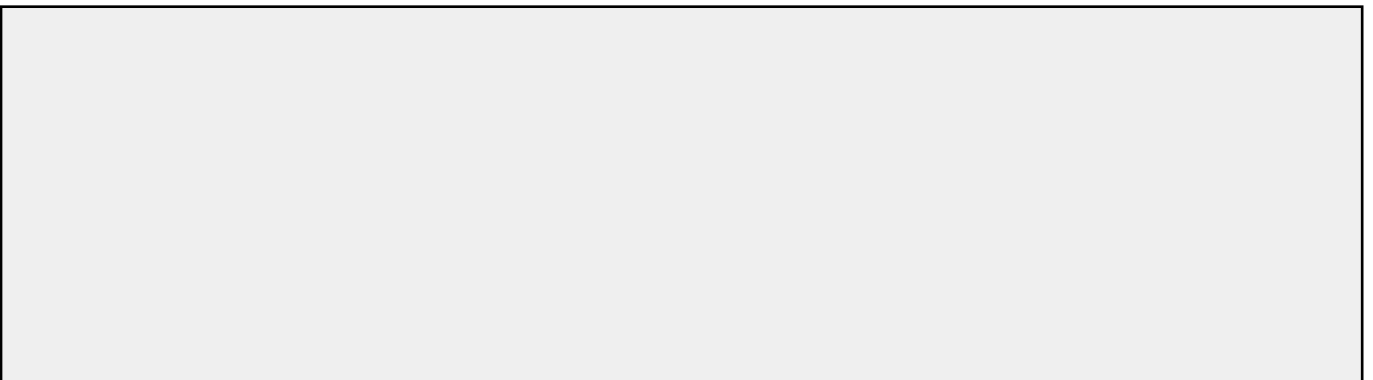


交流の促進に向けて現地の知事らと意見交換



田崎さんの解説を聞きながら、山梨の日本酒を味わう参加者

ここから下の段は広告です。広告の内容については、広告主にお問い合わせください。





山梨の今々をお届けする情報ページ

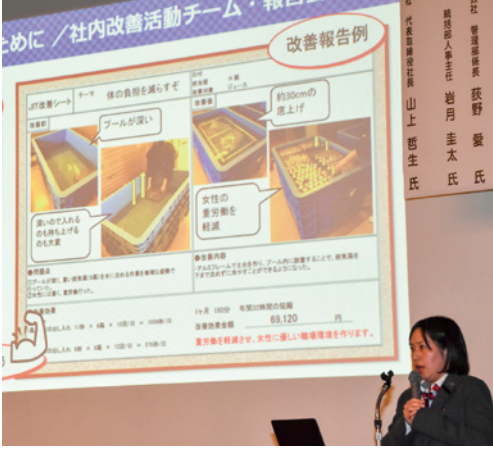
# 「YAMANASHIワーキングスタイルアワード」表彰 働き方改革に積極的に取り組む企業を応援

## 労

働力の確保が課題となる中、働き方改革は、働く人の意欲や能力の発揮、また、企業の人材確保にもつながると期待されています。このため県では、働きやすい職場環境づくりや育児・介護に関する支援、多様な人材の活用などを積極的に進める企業を表彰する「YAMANASHIワーキングスタイルアワード」を創設。第1回目の受賞企業として、優秀賞3社、奨励賞9社を選び、1月中旬に開催した働き方改革セミナー内で表彰式を行いました。



表彰を受けた12社の代表者と長崎知事(前列中央)



受賞企業が働き方改革の取り組みを発表

セミナーでは各企業の代表者が長崎知事から表彰状を受け取った後、優秀賞に選ばれた3社が働き方改革の取り組みを発表したほか、先進的な取り組みを実践する県外企業による講演も行われ、来場者が熱心に耳を傾けました。県ではこれからも、誰もが生涯を通じて、その人らしく働き、活躍することができ、環境づくりに向け、企業における働き方改革の取り組みを支援していきます。県の就職情報サイト「やまなし就職応援ナビ」で、受賞企業を紹介しています。ぜひご覧ください。



やまなし就職応援ナビ

# 自然保育の推進に向け シンポジウムを開催

## 子

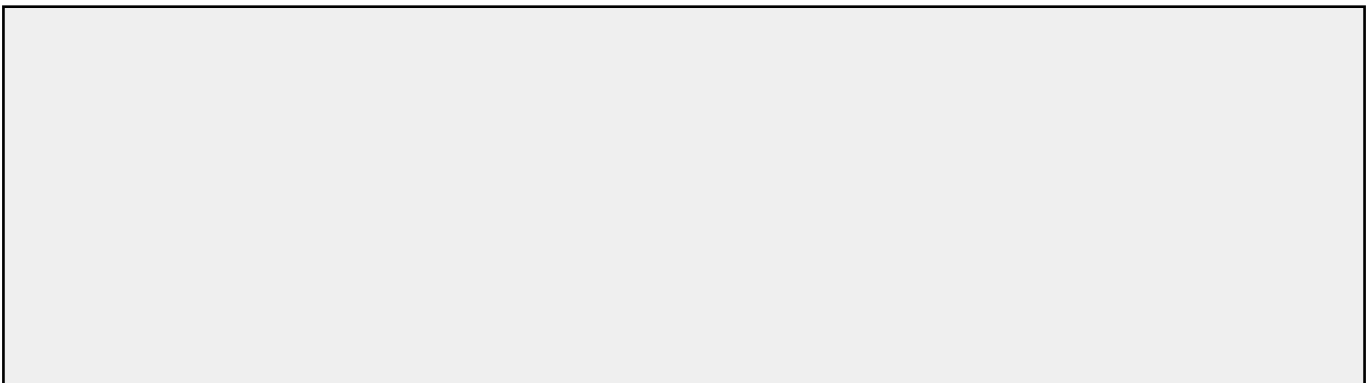
子どもたちが豊かな自然を活用した体験活動による保育・教育を受けることは、自分や他者を大切に思う気持ち、郷土を愛する心を育むことにつながります。また、子育て環境の充実は山梨の魅力となり、子育て世帯の移住・定住を促進することも期待されるため、県では、保育所などにおける自然保育の導入を推進しています。

新たな取り組みとして、自然保育に積極的に取り組む保育所などを表彰する制度を創設するとともに、1月下旬「やまなし自然保育シンポジウム」を開催。他の模範となる活動を展開している県内五つの保育園や幼稚園の表彰と、各園の代表者による活動発表に続いて、専門家による講演会が行われました。



自然体験活動の意義について講演する日本保育学会会長の汐見稔幸さん

ここから下の段は広告です。広告の内容については、広告主にお問い合わせください。



# ふれあい 読者プレゼント

## ハンさんの おいしいくわ茶

(株)養郷提供

抽選で**5名**の方に!



「美味しい甲斐開発プロジェクト」  
については、ホームページを  
ご覧ください。

美味しい甲斐

検索



### 冬号のアンケートに寄せられたご意見の一部を紹介! オリンピック・パラリンピックをきっかけに 山梨を盛り上げるためには?

#### 山梨をいろいろな方法でPR

ホストタウンとなる市町村が連携してそれぞれの地域をPR  
(甲府市・60代男性)。県出身の選手に出身地のPRをしてもら  
う(甲府市・50代男性)。東京の隣県であることをもっとアピ  
ールする(山梨市・40代女性)。多くの外国人に興味を持って  
もらえるよう多言語で山梨を紹介(上野原市・60代男性)。

#### その他

公共交通機関を充実させる(笛吹市・40代男性)。宿泊施設を  
充実させる(中央市・20代女性)。初心者でもサイクリングを楽し  
める環境を整備する(南アルプス市・30代女性)。大会競技と関  
連付けて、森や川を生かしたアクティビティを企画する(県外  
20代女性)。有名選手が参加する自転車競技ロードレースを  
開催する(県外・60代男性)。



#### アンケート

問1:今号の中で最も関心を持った内容は?

問2:ワイン県として山梨を盛り上げる方法は?

※頂いたご意見の一部は、夏号で紹介させていただきます。

#### 応募方法

アンケートの回答と、次の①～⑥をご記入の上、はがき、電子メール、  
ファクスのいずれかの方法でご応募ください。

①郵便番号 ②住所 ③氏名 ④年齢・性別 ⑤電話番号 ⑥メールアドレス  
(ある方)

#### 応募先

山梨県「ふれあい読者プレゼント」係  
はがき:〒400-8501 甲府市丸の内1-6-1  
電子メール:koucho@pref.yamanashi.lg.jp  
(件名に「ふれあいプレゼント」と入力)

ファクス:055-223-1525

#### 締め切り

4月30日(木)(当日消印有効)

商品の発送をもって、当選発表に代えさせていただきます。  
個人情報商品の発送のほか、県からのお知らせのために、使用させていただく  
ことがあります。

県政情報  
発信中!



ホームページ



Facebook



Twitter



広報誌



広報番組

ここから下の段は広告です。広告の内容については、広告主にお問い合わせください。



■やまなしの県有林の印刷紙  
この印刷紙には、FSC 森林管理認証を取得した  
山梨県有林からの木材が使用されています。